

ペットボトルのいかだを女鳥羽川に浮かべる 2 年生



ぜんじみち 安原

安原の
いま

総人口 4,571 人 (前年比+3 人) 【男 2,223 人 女 2,348 人】
安原地区公民館 〒390-0802 松本市旭 2-11-13 TEL 0263-39-0701

旭町小学校開校 100 周年

～100 年間積み重ねた努力で笑顔の花を咲かせよう～

大正 11 年の開校から 100 周年を迎えた旭町小学校が、11 月 9 日に記念式典を挙行しました。90 周年のときに書かれた「10 年後の自分への手紙」を 3 人の卒業生に手渡し伝達式や、学習発表会、記念音楽会などが行われました。「自分への手紙」はその後全員に発送しています。歴代校長 3 人によるヴァイオリンの演奏(校

歌とヴィヴァルディの「四季」より「春」もありました。今年「探求的な学び元年」と位置づけ、子どもたちが自ら夢中になる活動を立ち上げて、自ら探究しながら学び合うことに取り組んでいます。例えば、3 年生は盲学校との交流を深め、4 年生は各行事のプロジェクトチームを立ち上げて活動してきました。残念ながら井戸



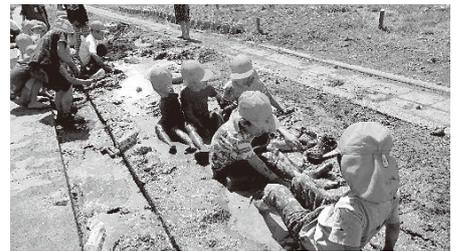
自分の思いを書いた連凧を揚げる 5 年生



歴代校長が織りなすヴァイオリン演奏



学習発表をする児童



様々な体験を通して自信を深めていった 1 年生

あさばのウォークラリー

城北地区の歴史・文化に触れる

昨年度から始まったあさばのウォークラリー、2 回目となる今回は 11 月 20 日に開催されました。

当日は、朝から雨がいつ降ってきてもおかしくないといった空模様でしたが、お昼すぎまでなんと降らず、無事終了することができました。

参加者は、コロナの感染者数の増加の影響で昨年の 68 名に比べて 32 名と半減しましたが、皆さん参加できてよかったですと話しておられました。

今回のコースはお隣の城北地区内です。巡るポイント地点は、福島大将誕生地、高橋家住宅、賢忠寺・首貸せ地藏、大日堂、普通選挙発祥地の碑、旧開智学校校舎、姫宮神社、ビヤクシンの大木、松本測候所跡の 9 カ所です。それぞれの場所にある案内板を読んだり、周囲を見回したりして掘りプロジェクトは断念することになりましたが、校章の記念バッジを作った 6 年生など、学年毎にさまざまな挑戦をしてきたそうです。先生方も、悩み迷いながら子どもたちを



ポイント地点を目指す参加者

馬場英晃教頭は、100 周年事業を進めてきた中で改めて地域とのつながりが強く、大事にされている学校だと感じたと話されました。

人権啓発
推進協議会
主催

藤村の「破戒」に学ぶ 藤村記念館を訪れる

去る12月1日、『島崎藤村生誕150周年記念特別企画展』が開かれている小諸城址・懐古園内にある藤村記念館を訪れました。

この記念館は、日本の自然主義文学を代表する島崎藤村が小諸時代に残した作品・資料・遺品を中心に展示しています。

藤村は明治32年4月、恩師であり小諸義塾の塾長であった木村熊二に招かれ、小諸義塾に国語と英語の教師として

赴任。同時に結婚し、後に3人の女の子を授かっています。

この頃から浪漫派詩人から本格的に小説へと移行し、長編小説『破戒』の執筆を始めました。その後6年で小諸義塾を退職し、原稿を持って上京。翌年長編小説『破戒』を自費出版しています。

『破戒』は、誰よりも早く自我に目覚めた者の悲しみという、藤村自身の苦悩を主人公に仮託しつつ、社会的テーマを追求した作品です。明治

守ることは伝えること

橋倉家住宅の今①

令和4年、県宝橋倉家住宅は1850（嘉永3）年江戸時代の末期に建てられたことが、信州大学工学部の調査で判明しました。

昨年の10月28・29日に開催された橋倉家住宅見学会、この日程に合わせたかのように、タイムリーな新聞発表がありました。

2日間の来場者は83人。定期的に見学会を開催・継続す

ることについて、説明員の松本市文化財課主査の小林一成さんは「まず知っていたことが大事。地域の文化財として広く活用してもらえる状況でありたい」と解説しました。また、住宅の保守点検について「今年度の耐震診断の結果に基づいた立案、そして2年くらいをかけ、傷んだ箇所を健全な状態に直したい」と話しました。

見学会の翌週に、信州大学人文学部の学生有志の方々に

後期、小諸城下の被差別部落に生まれた主人公は、「その生い立ちと身分を隠して生きよ」と、父より戒めを受けて育ち



藤村記念館館長矢島守さんから説明を聞きます

ました。この作品が出版され、後に部落解放運動を展開し、差別的な言動を廃絶しようとする動きに繋がりました。



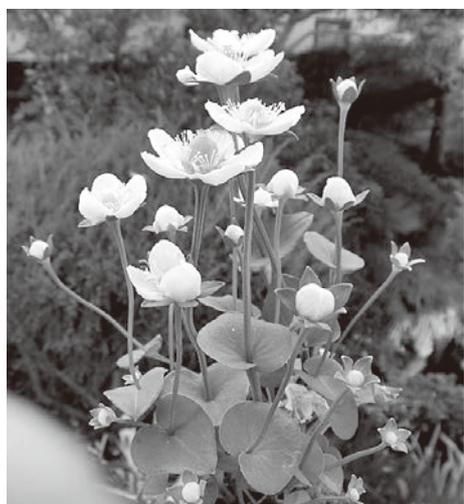
島崎藤村の胸像の前で

いちじょう並木

亜高山帯の湿地に自生 梅鉢草の紹介

ユキノシタ科
ウメバチソウ属
の多年草。名前の由来は梅鉢の紋に似ているところから付いた名前です。

根元から長い茎が伸び、数枚のハート型で丸い艶のある葉も見栄えがありま



白が冴える梅鉢草

花は5弁、上を向き平に開きます。

葉焼けを防ぐことが大切です、苔玉栽培をお奨めします。管理は一日おきに苔玉ごと水中に10分ほど入れます。涼しい池の縁に置いて楽しむと一層風情を感じます。

寒さに大変強く夏のむさ苦しい暑さと湿気が苦手です。地植えは日当たりと風通しの良い場所に植えること。夏の暑い時期に葉焼けを防ぐため日陰が必要。すだれ等で調整管理をしてください。鉢植えの場合は日陰に移動します。

す。先に可憐な白い花をつけます。茶花としても重宝される奥深い山野草です。自生地は全国各地に分布、北半球の湿地・亜寒帯と広い範囲で見ることが出来ます。